

ご依頼者



作業日



機種：シマノ 15 オシアコンクエスト 200PG

内容：オーバーホール



作業項目

- 作業前、動作確認
- 全部品の取り外し、動作不良箇所の確認
- 洗浄 (超音波洗浄、クリーナーによる脱脂)
- 不良箇所の修理、部品交換
- 駆動箇所への潤滑剤塗布、ベアリングへの注油
- 部品組み上げ
- 動作確認 (駆動確認、糸出し、巻き上げ、ドラグ負荷確認、等)
- 報告レポート作成

各部分解と状況詳細

1. ハンドル部



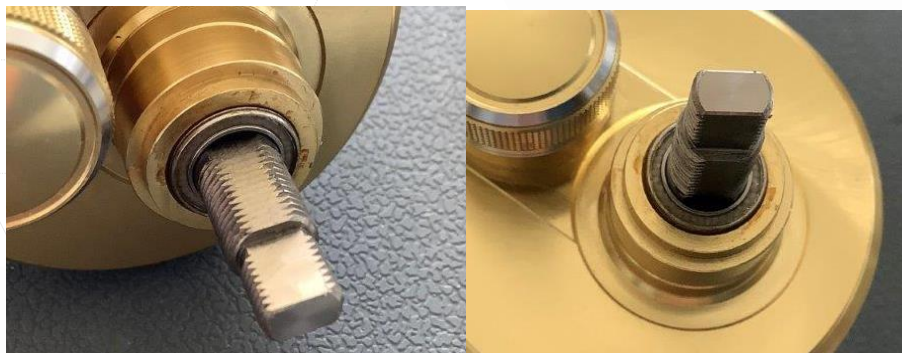
上左写真。ハンドルノブキャップを取り外したもの。上右写真。ハンドルノブ軸部分。下2写真。両方のノブ内のベアリングとワッシャー。下写真は左からワッシャー、ベアリング(根元側)、ベアリング(ハンドルノブ内)となります。

ノブキャップ内のネジ下にはベアリングがありますが、キャップに覆われている事もあり塩の被害は軽度です。若干の腐食汚れはありますが、しばらくは使用可能と判断しました。左右とも根元側のベアリングは変色し、腐食が発生しています。回転テストでもシャリ感と動作不良が出ていましたので交換対象としました(※1)。軸付け根部分は腐食が発生しており、ベアリングの腐食が原因と思われます。交換したベアリングはその箇所から高耐食性ベアリングにしております。

2. ハンドル軸



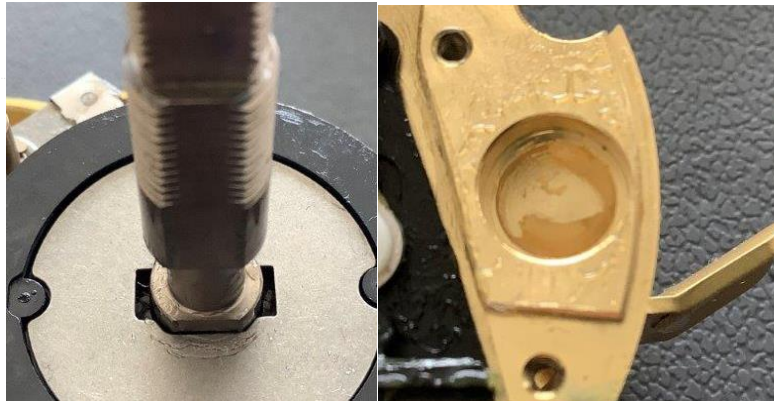
上写真。ハンドル軸と構成している部品となります。油分が殆ど無い状態。ワッシャー2枚に腐食が発生していますが、動作に影響が出る状態でも無く、そうした箇所でもない為、今回はそのまま使用しています。



上左写真。ハンドル軸部分。上右写真。軸付け根のベアリング。ハンドル軸や周りについては多少汚れがあるものの腐食や破損も無く問題ありません。軸付け根のベアリングについても回転テストでは問題なく、洗浄再注油の上使用しています。

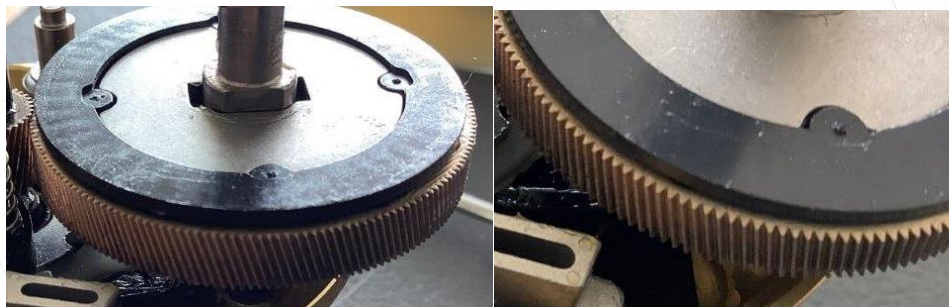


上写真。ローラークラッチ。油分の劣化変質はありますが、目視では状態に問題は無く、クリーナーによる洗浄を行い、再注油にて動作確認をしております。



上左写真。ハンドル軸。上右写真。軸が取り付けられている穴。軸には傷や摩耗も無く正常な状態です。取付穴の油分に減りが発生していますが、油分の色からも劣化や腐食は殆ど無く、正常な状態と判断しました。多くの場合、取付穴にあるベアリングは腐食の為に交換となりますが、本機器では問題ないと判断し洗浄と再注油にて使用しています。

3. ドライブギア、ドラッグ部



上左写真。ハンドル軸に取り付けられているドライブギア。油分が減っている状態が見られます。上右写真。ギア歯面の拡大。油分が少なくなっている状態でも歯面には欠け等も無く、正常な状態と判断しています。本機器の PG モデルは HG に比べギアピッチがかなり細かい状態で、劣化による摩耗などが発生しやすいのですが、こちらは問題ありません。



上写真。ドライブギアの構成部品。ドラッググリスの減りがかなりあり、汚れが目立たないのはそのためです。部品単体の状態も確認しましたが、摩耗もそれほどなく、動作に支障がでる状態ではありません。

4. ピニオンギア、メカニカルブレーキ



上左写真。メカニカルブレーキを外したところ。上中写真。そのノブ。上右写真。カバーを外し裏側から。左写真の中央のシャフトはスプールシャフトです。その周りがスプールの支えるベアリングです。右写真のベアリングはピニオンギアを支えています。

多少の汚れは見られるものの、腐食も発生しておらずベアリングの回転テストも正常です。洗浄と再注油にてそのまま使用しています。



上左写真。取り付けられているピニオンギア。上右写真。ピニオンギアの構成部品。油分の減りは見られませんが、ギア自体の状態は良く、腐食や摩耗も発生しておりません。

5. クラッチ機構



上写真。クラッチ機構になります。全体的に油分の減りは見られませんが、構成されている部品は正常な状態で腐食なども見られません。

6. スプール



上2写真。スプール。本機ではスプールを保持するベアリングは他の場所にあるのでスプール軸が見えていますが、軸根元部分が腐食により変色しています。その形状からこれを洗浄するのは難しく、若干の磨きを実施し取り付けております。現時点では動作に支障はありませんが、この状態が進むとスプールを交換する事になりますので、定期的なメンテナンスをお勧めします。パネル側のベアリングについてはシャリ感も無く正常な状態と判断し、洗浄脱脂後、取り付けております。

7. レベルワインダー

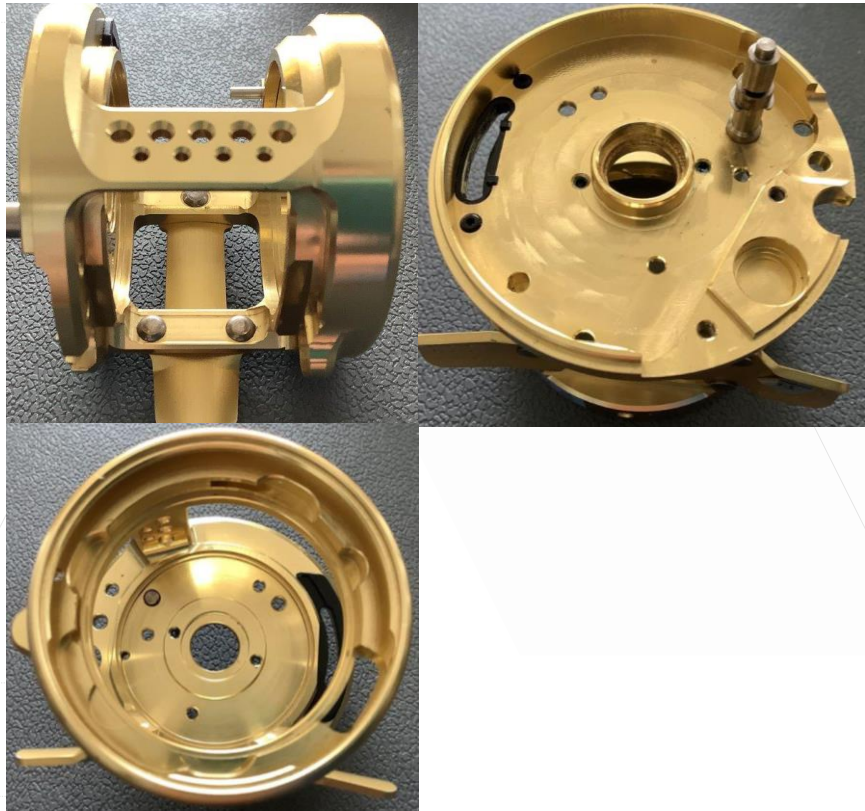


上写真。レベルワインダーを構成している部品。ベアリングとシャフトの一部で腐食が見られます。片方のベアリングは殆ど回らない為、双方を同時交換しています。(※2)

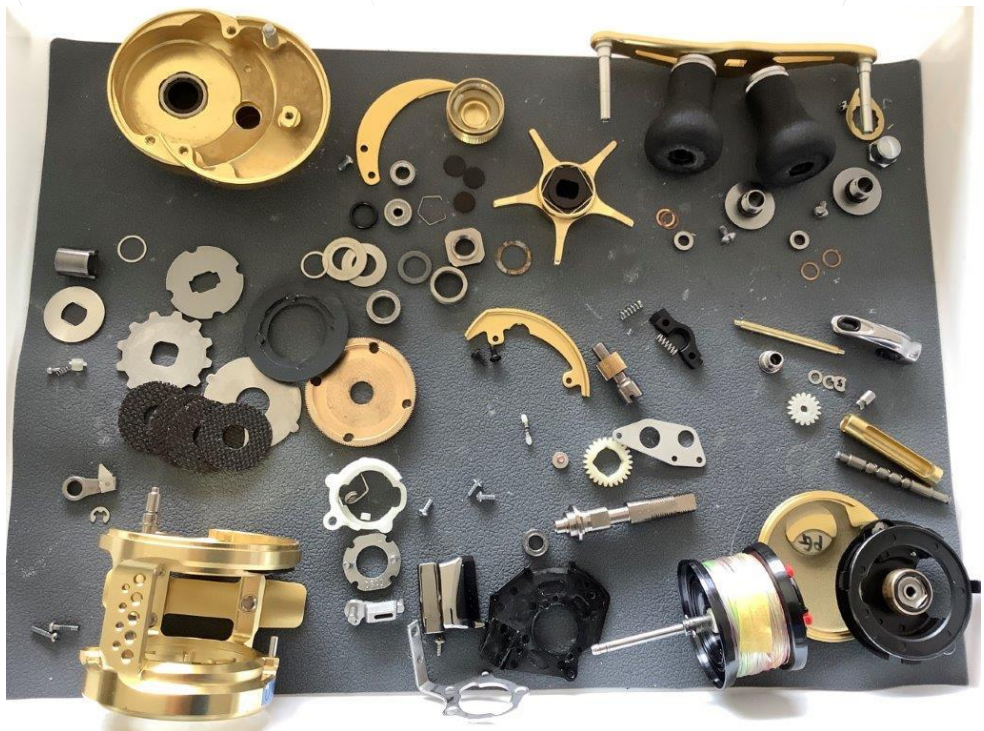


上2写真。レベルwind部分。レベルワインダーの下側からねじで固定しているのですが、ネジとネジ穴に腐食が発生しています。素材的にも腐食の発生しにくい箇所ですが、油分の減りが原因の腐食では無いかと思われれます。可能な限りの洗浄を行いました。定期的なメンテナンスされることをお勧めします。

8. その他



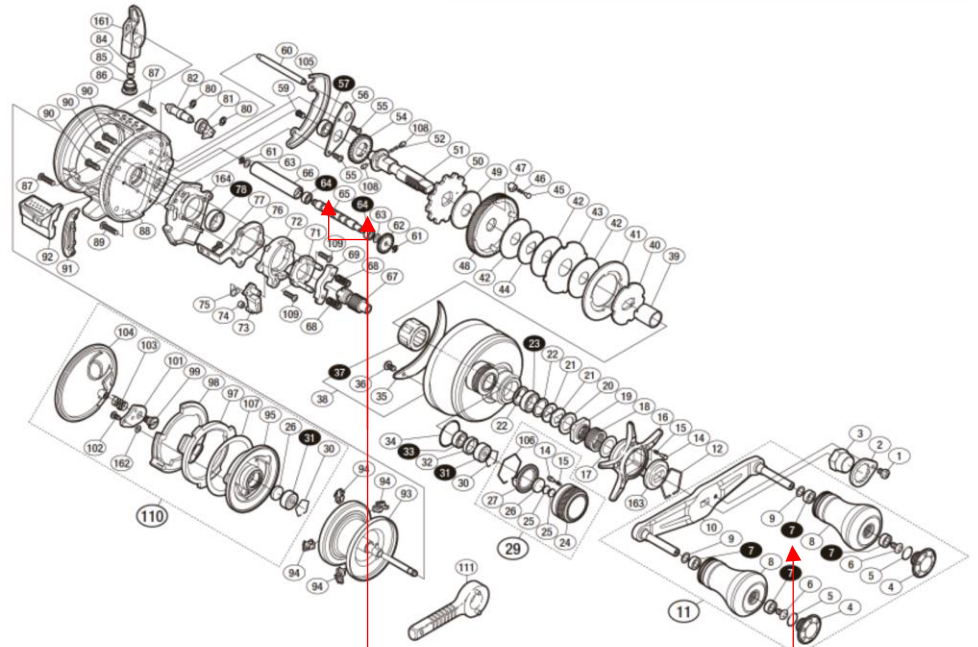
こちらはフレームの写真です。特に破損箇所等も無いため、洗浄後、グリスアップと同時に組み上げます。



以上、全パーツの外観写真をもって、状況詳細の説明を終わります。

部品交換について

部品交換関連について以下に整理します。



※白ヌキ番号はベアリングを示します。

※37 ワンウェイクラッチは圧入で固い場合があり、交換はアフターサービスに出していただくをお願いします。

調整座金類に関しては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございますので、ご了承ください。(商品により使用している場合とそうでない場合がございます。)

1. 交換必須ベアリング

(ア) ハンドルノブ受(※1)

(イ) レベルワインダー軸受(※2)

潤滑剤使用箇所

低粘度グリス①：

ハンドルノブ、レベルワインダー及び連動駆動系、ローラークラッチ

低粘度グリス②：

各種ベアリング

中粘度グリス：

ドライブギア、ピニオンギア、主要駆動部全般

低粘度ドラッググリス：

ドラッグワッシャー

超低粘度オイル：

スプール軸、スプール保持ベアリング

作業費用について

項目	注釈	金額
作業費用		
部品費用		
ハンドルノブ ベアリング(耐食性)	※1 (600) x2	
レベルワインダー ベアリング	※2 (600) x2	
合計		

以上